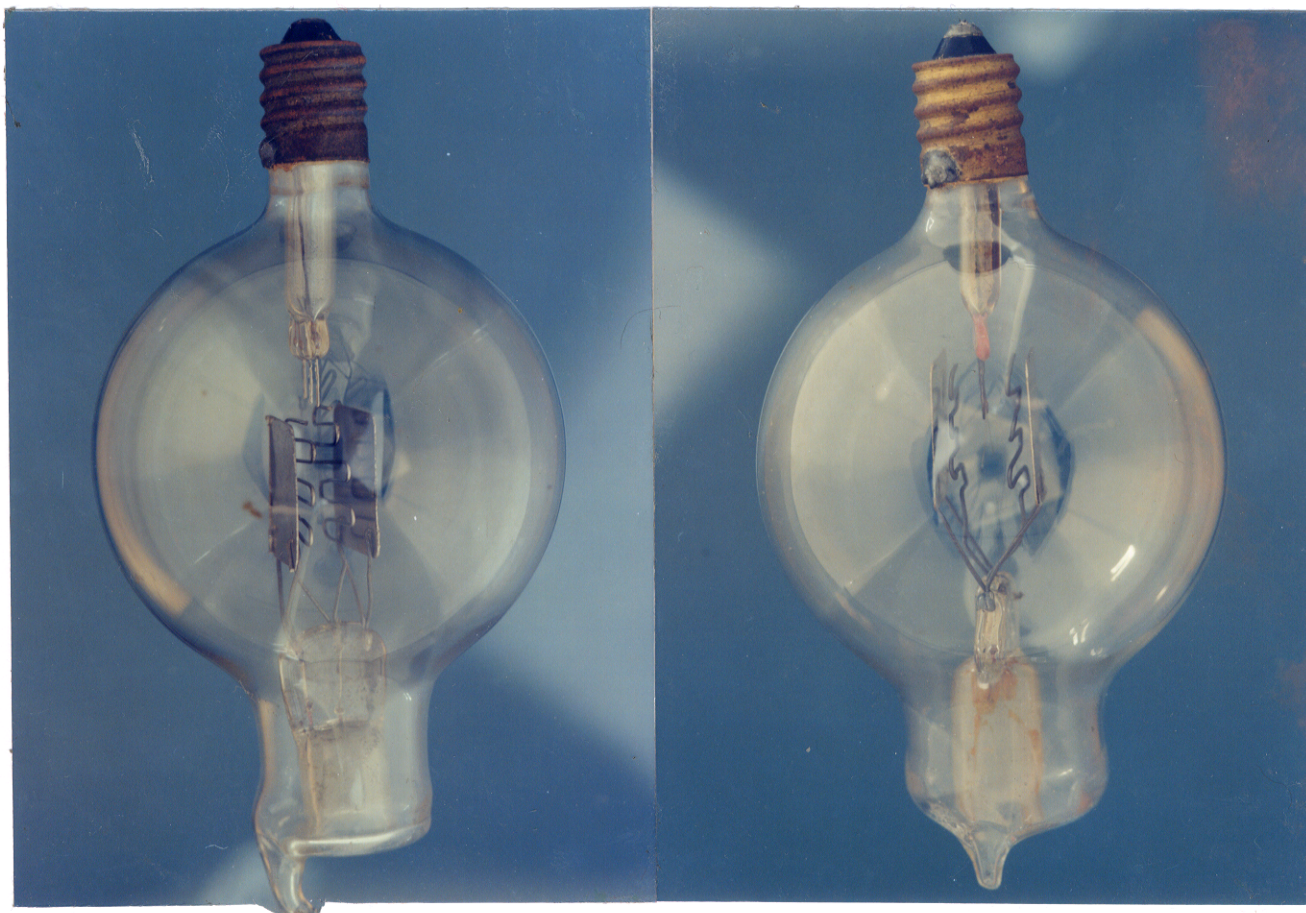


5. 東京電気 (現東芝) 梅田徳三郎氏に学ぶ

(研究開発の教訓)

1906 年 米国のドオフォレ氏が初の三極管を発明し、翌 1907 年に製品化に成功しました。世界各国の大学の研究室始め多くのメーカーの研究室が、即これに追随し このオーディオンバルブを上回る製品を開発すべく、研究、試作を競いました。しかし、どの研究所も悉く成功せず、徒に 10 年余りの年月が過ぎて行きました。



ドオフォレ氏のオーディオンバルブ
1906年

東京電気 (現東芝) UN-100
1917 年

ところが、東京電気の梅田徳三郎氏がオーディオンバルブとそっくりな、今で云うクローンのようなものを試作し、一発で成功しました。

その後 東京電気は後の東芝となって、わが国の真空管におけるリーダー的存在となったことは世に知られるところです。

新製品のアプローチについて貴重な教訓と云えましょう。